

1

JAN/2016 Vol.130

〇めがね橋ライトアップと絵灯籠

東峰 TOHO

広報

URL : <http://www1.will.toho.fukuoka.jp>



目次	年頭のあいさつ
2p/3p	ニュース&トピックス
4p/5p	地域おこし協力隊活動日誌
6p	保健師からのお知らせ
7p	公民館のほほ
8p/9p	役場からのお知らせ
10p/17p	くらし情報
18p/20p	村の行事、在宅医表
21p	フオトギャラリー
22p	



the most beautiful
villages
in japan

福岡県東峰村

毎月15日発行



年頭の

東峰村長 澁谷博昭

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆さまには、平成 28 年の新春を健やかに迎えのことに、心からお慶びを申し上げます。

昨年 10 月で村長就任から 2 年が過ぎました。これまでの 2 年間、皆さま方から温かいご支援、ご協力をいただき、安心・安全で活力ある持続可能な村づくりに全力で取り組んでまいりましたが、今後も引き続き「良い村づくり」にご協力を宜しく願います。

昨年を振り返りますと、4 月は本村の将来を見据えた体制づくりと、さらなる住民サービスの向上をめざし、役場組織の機構改革を行いました。

地方自治体の存亡をかけた「まち・ひと・しごと総合戦略」の策定では、人口減少の克服や村を活性化させるために具体的に何をするのか、高齢者の方々も若者も生きがいのある生活を送ることが出来る地域づくりに何が必要か、その問題解決には何をやらなければならないのかを、各種団体、グループ等からもご意見を伺い、現在取りまとめている段階です。また、東峰村は B B T 大学（※）と「地域創生プログラムに関する覚書」を締結し、人口減少問題の解決や人口の増加、雇用拡大についての方向性を考えて頂くようになりました。

ライスセンター建設につきましては、用地の取得に続き、造成工事、建屋工事も順調に進み、本年 3 月までには完成する予定です。また、来年度のはじめには、乾燥機械設置等の工事を発注し、秋の稼働に向けて万全を期すべく準備を進めてまいります。

本村で初めての防災訓練は、各区長を始めとする皆さま方のご協力により、840 名もの参加を得て行うことができました。今後も安心・安全な村づくりの取り組みとして継続して行きます。

本年度から「地域おこし協力隊員」の採用を始め、福永さん、清水さんに来て頂きました。お二人には観光情報の発信、庭先野菜の集荷など、新しい取り組みの中で「村おこし」に頑張ってもらっています。

小石原川ダム建設事業では、平成 28 年度もほぼ満額の予算が確保される見込みですので、平成 31 年度の事業完成に向け順調に進む事と思えます。

東峰学園の学力テストの結果は全国平均を上回り、スポーツ面においても優秀な成績を残すことができました。これも先生、保護者並びに地域の方々のご支援の賜物であり、小さい村にとっての快挙であり、誇りに思うものです。

民陶むら祭、ほたる祭、秋まつりなども、皆さまの I T 等の活用による活発な情報発信により、例年になく多くの来村者の方々をお迎えすることができました。また、マスコミで東峰村がたびたび取り上げられるなど、「観光立村東峰村」に向けた取り組みが図れた年でもあったと思います。今後も東峰村からの情報発信にさらに力を入れ、東峰村の知名度のアップ、来村者の拡大に努め、地域の活性化を図っていきます。

結びに、本年は、「東峰村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策に取り組み、村政運営に努めていく覚悟であります。これらの実現の為には、村民の皆さまが自ら行動できる地域づくりや、人づくりを行っていきたくと考えておりますが、当然、村民の皆さまのご理解・ご協力を欠かすことは出来ません。どうぞ、将来の「より良い東峰村」の礎を築くため、「すすめる決断」と「とどまる勇気」の村政運営にご理解・ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、村民の皆さま方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

あいさつ



東峰村議会議長 大蔵久徳

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には於かれましては輝かしい平成 28 年の新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

年頭に当たり、東峰村議会を代表致しまして新春のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様には日頃より議会活動に対しご理解ご協力を頂きまして、まことに有難うございます。

昨年を振り返ると、パリ同時多発テロが発生し、多くの方が犠牲になったのは記憶に新しいところです。世界がテロの脅威にさらされており、残念ながら日本には関係ないと言えない状況となってしまいました。争いごとの無い日々が来ることを願うばかりです。

国内に目を向けると、本年度の我が国の一般会計の税収は景気回復の影響で、バブル期以来の 57 兆円台に乗せる勢いです。景気回復の恩恵は大都会と大企業から、若干地方にも移行しつつありますが、賃金にはまだ反映されていません。また、増税ショックが依然としてあり、国民の消費マインドがなかなか上がりにくい状況です。国民一人一人が実感できる、真の景気回復を望むところです。

さて、東峰村は、昨年 3 月で合併 10 周年を迎えました。多くの事業を行いながらも、行財政改革の推進により、財政指数はこの 10 年で大きく改善し、村債は減少、基金は増加しています。しかし、残念ながら合併当初約 2,900 人いた人口は約 2,300 人にまで減少致しました。高齢化率も県内トップの 39.4% です。そういった現状を打破すべく、10 年先の村の目指す姿を描いた第二次東峰村総合計画基本構想を 3 月議会で議決。また、本年度村では生き残りをかけ、村内外の色々な職種の方のご意見を募り、まち・ひと・しごと創生総合戦略を新たに策定中です。若者から老人まで安心して暮らせる東峰村を目指していかなければなりません。

昨年、TPP(環太平洋パートナーシップ)協定交渉が大筋合意に達したことが発表されましたが、農業関係者の多くは先行きを不安視しています。山間部の耕作面積の狭い東峰村に於いて、価格の安い外国産の農産物に対抗するのは難しく、また、高品質の農産物を大量に生産することが困難であることも事実です。補助金漬けの農業施策が競争力をそぐとの意見もありますが、農業が国土保全の役目も果たすこともあり山間部の農地が維持できる農業施策を国・県に求めていくことが大切であろうと思います。

また、現在建設中のライスセンターの運営母体が未だ決定しておらず、議会としても危惧しております。本年の営業開始に向けて一刻も早い決定を働きかけてまいります。

さて、議会では 11 月に、村内 10 地区で議会報告会を行いました。多くの方の参加を頂き感謝申し上げます。皆様方から頂いた、たくさんの貴重なご意見、ご要望は今後の村づくり、議会活動に大いに参考にさせていただきます。今後も皆様との対話を大切にし、具体的な政策、施策を提案できるよう政策立案機能の充実に努め議員の資質向上を図っていきます。

最後に、村民の皆様にとってこの一年が素晴らしい年でありますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

Toho News & Topics

村のニュース&トピックス

東峰村の創生に向けて

■「福岡県東峰村・地域創生プログラム」に関するフィールドワークを実施

ビジネス・ブレイクスルー大学（100% オンラインで経営の学士を取得できる日本初の大学 略称：BBT 大学）が、東峰村と連携して地方創生を目指し新設した科目「プロジェクト T（東峰村の頭文字）」の取り組みとして、11月20日（金）～23日（月）に14名の学生が来村し、地域の現状や課題を探るため村内施設や景勝地の調査、村民へのインタビューを実施しました。学生達は、東峰村の人口を増やすため、「窯業」「観光」「農林業」「ネットワーク」の4グループに分かれ、それぞれがテーマに沿った解決策を打ち出すこととしており、今回の調査結果を受けて、12月19日（土）に宝珠山基幹集落センターで中間発表会が行われ、各グループ様々な視点からの解決策が提案されました。中間発表で出された解決策はさらに練り上げられ、2月6日（土）に最終発表会が行われる予定です。



▲オリエンテーションの様子



▲中間発表会の様子

村をつくるのは人 私たち一人ひとりの力

■村づくり人づくり講演会

11月26日（木）、いずみ館多目的ホールにおいて、第3回村づくり人づくり講演会を開催しました。講師にRKB毎日放送 報道部長の竹島 史浩たけしま ふみひろさんに「匂を逃すな！～ふるさとPR大作戦～」と題して講演いただきました。情報が氾濫するなかで、いかに「ふるさと＝東峰村」をPRしていくのか、また、情報の出し手（東峰村）と受け手（報道機関）とが共に有益となる関係をどのように築いていけばよいのかを学ぶことができました。



▲講師の竹島さん

今月の納税	●税目	村県民税（第4期）		東峰村ごみ収集量（平成27年12月分）(kg)			
		国民健康保険税（第7期）		種別	当月分	前月分	増減
	●納期限	2月1日（月）		可燃ごみ	38,380	31,530	6,850
	●口座振替日	1月25日（月）		資源ごみ	1,720	5,110	▲3,390
				粗大ごみ	6,220	570	5,650
				合計	46,320	37,210	9,110

■「人権週間」街頭啓発

12月1日(火)に「人権週間」の一環として、街頭啓発を行いました。澁谷村長をはじめとする東峰村人権教育推進協議会委員で、午前7時30分から宝珠山交差点、午前11時からは道の駅小石原にて、啓発物品を配布しながら、啓発活動を行いました。朝の出勤前で慌ただしい中、委員の呼びかけに笑顔で応じていただき、ありがとうございました。



▲宝珠山交差点での啓発活動

人権週間とは？

1948年12月10日、国際連合の総会で世界人権宣言が採択されました。このことを記念して、日本では1949年に12月10日を最終日とする一週間(12/4～10)を人権週間と決めました。

人権週間の期間中、世界人権宣言の趣旨とその重要性を広く訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るため、集中的な啓発活動が行われています。東峰村では街頭啓発や企業啓発、人権講演会等を実施しています。

12月4日～10日は人権週間でした

■人権教育講演会(人権コンサート)

12月4日(金)いずみ館多目的ホールにおいて、人権教育講演会を開催しました。講師に、子育てシンガーのmonさんをお招きし、「うまれてきてくれてありがとう」と題して、コンサート形式でご講演いただきました。当日は、昼の部(小学5年生～中学3年生:102名参加)と夜の部(一般:152名参加)の2回に分けて講演会を行い、総勢254名の方が参加されました。monさんは、不妊治療などを経験され、また、在日韓国人であることから、被差別も体験され、歌に込めるメッセージの大きなモチベーションになっていらっしゃるそうです。monさんの実体験に基づく、いのちや人権をテーマとしたトーク&ライブは、透き通るようなきれいな歌声に乗せて心に深く響き渡り、多くの方々の共感や感動を誘いました。



受賞おめでとうございます！

■「第35回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会」表彰

12月16日(水)、東峰学園において、「第35回全国中学生作文コンテスト福岡県大会」奨励賞の表彰が行われました。コンテストは、人権問題についての作文を書くことを通じて、人権尊重の重要性、必要性について理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的に、福岡法務局及び、福岡県人権擁護委員連合会が主催したものです。福岡法務局朝倉支局管内の中学校9校から応募された約2,000作品の中から、各校5作品(計45作品)が選出され、続く人権擁護委員の互選により4作品が選出されました。この4作品のうち3作品が東峰学園からの受賞となりました。受賞されたのは、熊谷真由さん、和田凜さん、森山太夢さんの3名です。おめでとうございます。



▲受賞された3名

左から
熊谷真由さん、和田凜さん、森山太夢さん